

下関市立市民病院

所在 〒750-8520 山口県下関市向洋町1-13-1

下関医療圏の中心的役割を担い、「安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します」の基本理念のもと、地域から信頼される中核病院の役割を果たしています。悪性疾患、救急医療、生活習慣病の診療を重点項目に掲げ、感染対策にも注力。地域の医療機関と連携を図り、多様なニーズに対応できる医療機能の充実も強化しています。

募集人数 5名 **病床数** 382床
(令和9年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 550,000円/月 程度 当直手当含む
給与2年目: 580,000円/月 程度 当直手当含む
賞与2回(夏季・冬季)



研修プログラムの特徴

必修科の内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週、救急科12週(うち4週は麻酔科で研修、研修期間内の当直回数含む)、麻酔科を8週研修。地域医療は2年次に4週研修、残りの期間は選択科とし、研修医の希望も入れた研修計画を研修管理委員会で決定します。一般外来は内科・外科・地域医療の研修中に並行して研修を行います。救急当番日は副当直として月4回程度診察に従事します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	麻 8週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週	救 4週
	内…内科、麻…麻酔科、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、救…救急科						
2 年 目	地 4週	1年次で修了しなかった必修科を行い、残りは選択科として自由に選ぶことができます。					
		地…地域医療					

関連病院 等

- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 済生会下関総合病院
- ・ 下関病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 済生会豊浦病院
- ・ 宇部協立病院

主な勉強会

救急に関する早期講義
(4月～5月下旬くらいまで)、
CPC(年1回)、BLS、ACLS、
ICLSなど

プログラム 責任者 [リウマチ膠原病内科]
大田 俊一郎 医師



研修医 研修医2年目[産業医科大学出身]
河杉 航聖 医師



Q 当院の自慢は?

化学療法センター、透析センターを併設し多様なニーズに対応しています。また緩和ケア病棟では終末期医療を学ぶことができます。呼吸器腫瘍センター、脊椎・脊髄病センター、リウマチ・関節センターなどでは、診療科の垣根を越え総合的・専門的な診療を行っています。

Q 研修内容のセールスポイント

少人数での指導で多くの手技・処置を経験できます。麻酔科研修、BLS・ACLSを修得することで、救急蘇生術を身につけます。また、研修医の希望を取り入れた勉強会を行っています。

Q どんな指導を心掛けていますか?

問診・診察・診断・治療における一連の論理的な思考はもちろんのこと、各検査の意図、結果の解釈など細かく指導を行います。また、医療技術だけではなく、医師として患者に向き合う姿勢など全人的に指導しています。

Q 医学生へのメッセージ

まずは病院見学においてください。百聞は一見にしかず。当院の良さを分かっていたいただけたと思います。

Q 研修先病院として選んだ理由は?

内科、外科を中心に多くの診療科がそろっており、自分の志望科ともマッチしていました。また、当院では多くの救急車を受け入れており、一般的な疾患から希少な疾患まで幅広い経験を積むことができるところが魅力に感じ、志望しました。

Q この病院を選んでよかったことは?

基本的に各科に一人の研修医がローテートする体制となっており、指導医の先生方から丁寧な指導を受けることができます。また、カリキュラムの自由度が高く、1年目でほとんどの必須診療科をローテートすることで、2年目は自分の志望科を中心に興味のある科で研修することができます。

Q 研修で最も身についたことは?

救急外来における初期対応は最も身についたことだと思います。指導医の先生からのフィードバックも多く、臨床の現場における実践的な知識を学ぶことができます。

Q 医学生へのメッセージ

多くの診療科がある当院では、充実した研修生活を過ごせると思います。研修医同士の仲もよく、楽しく学び合える環境です。当院に興味のある方はぜひ一度見学にお越しください。お待ちしております。

お問い合わせ先

担当部署: 事務部 | 担当者: 濱崎・谷口 | 電話: 083-224-3850
Eメール: kengaku@shimonosekicity-hosp.jp